

09

農家として最高に美味しい野菜を作り続ける

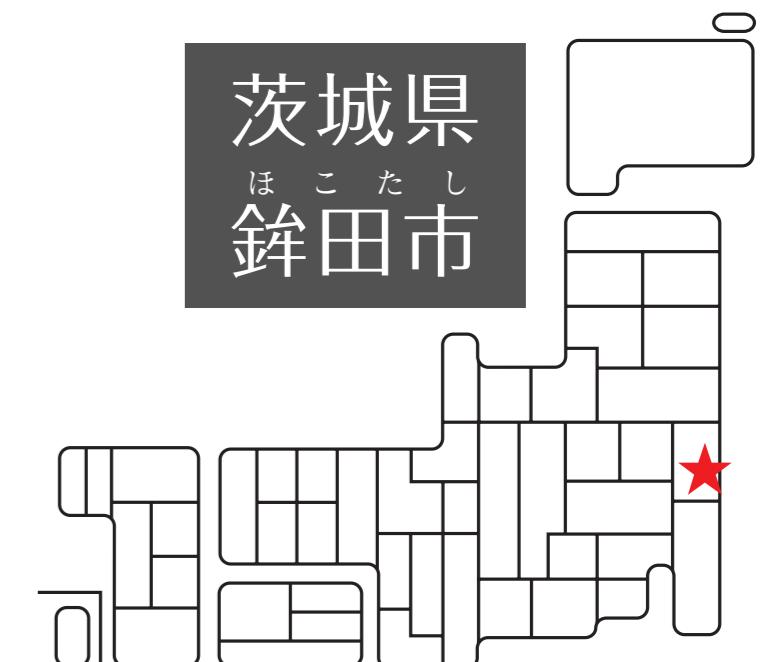
深作 勝己

個人部門

農業

6次産業化

女性の活躍

茨城県
鉾田市

循環型農法で作ったメロンを収穫



明治大学での講義の様子



カフェ&工房「ル・フカサク」の店内

- 概要**
- ◆ 深作農園は6代100年以上続く農家で、自家製堆肥を使った循環型農法でメロンやいちごを長年連作している。農業生産に加え、果物狩りやスイーツの体験型テーマパークを作って地域を盛り上げている。
 - ◆ 地元の中学校・高校と連携して農業体験や加工体験を提供し、農業への理解を深めている。大学生のインターンも受け入れ、産学官連携の研究も進行中。輸出準備や農業経営の学びも進め、持続可能で成長を続ける農業を目指し、大学院で農業経営を再学習。

- 成果**
- ◆ 6次産業化の売上は令和元年から令和6年で、約1.47倍に増加。直売や時間無制限のいちご狩りなど多彩なサービスでファンを増やし、いちご狩りの年間来園者数は2万人から3万人以上に伸びて、鉾田市の人気観光スポットになった。従業員数は令和6年時点では58人、そのうち女性は約84%の49人で、地域の雇用拡大と女性活躍推進に大きく貢献。
 - ◆ 消費者の声に応えて、自分たちの果物を使ったスイーツやジェラートを開発し、国内外の大会で賞を取るほどのクオリティに。



ディスカバー農山漁村の宝（第12回選定）